

## 米国のインシデント管理システム(NIMS)の目指すもの

一般社団法人レジリエンス協会

黄野吉博、白澤健志

※ 本稿は、米国国土安全保障省が公表している“NATIONAL INCIDENT MANAGEMENT SYSTEM Intelligence/Investigations Function Guidance and Field Operations Guide”、2016年5月版の概要です。

### 1. NIMS 制定の経緯

NIMS は、2001年9月の同時多発テロ後の2004年に初版が発行されました。その後、ハリケーン・カトリーナ(2005年8月、ルイジアナ州が被災)、ハリケーン・サンディ(2012年10月、ニューヨーク州が被災)などの教訓を踏まえ、2008年と2013年に改訂されました。

### 2. NIMS の構成

NIMS のテキストは次のような内容で構成されています。

- ① NIMS とはなにか／序文
- ② 導入および概観
- ③ 構成要素 1 事前準備
- ④ 構成要素 2 情報通信管理
- ⑤ 構成要素 3 資源管理
- ⑥ 構成要素 4 指揮と管理
- ⑦ 構成要素 5 継続的維持管理

### 3. NIMS とはなにか

NIMS は、インシデント(災害・事故・事件及びその複合)がもたらす生命・財産の喪失や環境への影響を減らすために、行政部門・民間部門・NGO などの組織と、それぞれも組織の構成要員同志が一体となり、全てのインシデントに対して回避・防御・対処・回復・被害軽減を目指して、体系的かつ予防的な手法を提供するものです。対応するインシデントは、その原因・規模・場所・複雑さの如何を問

いません。

NIMS は「国家の対応枠組(NRF)」と連携して機能します。NIMS がインシデント管理の枠組みを提供するのに対し、NRF は国家的インシデントの対策方針と組織を提案、提案します。

## 4. 導入および概観

### 4.1 導入

同時多発テロと相次ぐハリケーンは、米国全体のインシデントへの対応能力と、連携方法を改善する必要性を明らかにしました。あらゆる組織間とその構成要員間で運用可能な包括的な連携手法は、自然災害のみならず、テロやその他の人的災害を含むあらゆるインシデントに対して対応方針と対応要員の効率性向上につながります。NIMS の利点をまとめると次になります。

- 標準化されたインシデント対応策であり、拡張性と柔軟性を持つ
- 対応要員間の協力や相互運用性を強化する
- あらゆる災害に対する包括的な事前活動である
- 関係組織間が有する経営資源の連携を効率化する
- ベストプラクティス及び得られた教訓が反映される

### 4.2 概念と原則

NIMS は「柔軟性」と「標準化」という二つの特徴を持ちます。

- 柔軟性： NIMS の構成要素はどんな状況にも適用可能な柔軟性を持ち、それによりインシデントへの対応に拡張性がもたらされる
- 標準化： NIMS は標準化された組織構造を提供し、これにより、NIMS を採用した関係組織間では協働が促進される

## 5. 構成要素 1 事前準備

インシデントに効果的に対応するには事前準備が不可欠です。事前準備の達成には、官・民・NGO などの組織間連携とその構成要員の連携が必要です。

### 5.1 概念と原則

事前準備サイクルの構成要素は「計画立案」、「組織化／装備」、「訓練」、「演習」、「評価・修正行動」の五つです。継続的な事前準備は、インシデント発生の際に、良い結果をもたらします。

- 統一的手法： 事前準備は統一的手法で行う必要がある。それには、NIMS の構成要素をインシデントへの対応体制に組み込むことが望ましい
- 能力レベル： 組織は、インシデントの事前、最中及び事後に得られる構成要員の対応能力

レベルについて見通しを持っておく必要がある

## 5.2 事前準備の達成

対応要員およびその所属組織は、各自の役割と責務を事前に明確にしておく必要があります。方針・連携・支援といった業務に携わる者も以下について役割と責務を事前に明確にしておく必要があります。

- ① NIMSとNRFの関係：NRFは、あらゆる災害についての国の対応方針であり、NIMSに基づき制定される。NIMSとNRFは国全体の対応能力向上を目的としており、地域での指揮権限は地方政府にある
- ② 事前準備における役割：NIMSは、インシデントへの対応に積極的役割を果たす官・民・NGOの全階層に適用可能である。特に重要な役割と責務は次の通り
  - ・ 連邦省庁：HPSD-5は全ての連邦省庁に対し、NIMSを採用して個々のインシデント管理プログラムや活動に導入し、また州政府以下の各政府を援助するための全行動を支援するよう求めている
  - ・ 州および地方政府：州・地方政府の資源や相互扶助・援助協定は、インシデントへの対応・管理・連携の第一歩となる。NIMS運用の理念は、対応活動の指揮・統制・権限が各地域の行政当局に委ねられるという概念に基づいている。
  - ・ 民間部門とNGO：両者は、行政の事前準備を支援する上で重要な役割を果たす。対応業務に直接従事する組織は、その対応要員にNIMSの教育と訓練を受けさせることが強く推奨される
- ③ 事前準備の要素としては、計画策定、手順と規則、教育と訓練、要員の資格認定、機器の認証、減災への行動方針などがある

## 6. 構成要素2 通信情報管理

インシデントへの対応が効果的に行えるかどうかは、柔軟な通信情報システムを利用して、対応要員とその組織が共通運用図(COP: Common Operational Picture)を共有できるかどうかにかかっています。共通状況図の策定・維持とアクセス可能性及び相互運用性の確保は、通信情報管理の主目標です。

### 6.1 概念と原則

相互運用性、信頼性、拡張性、可搬性といった重要概念に基づき、分野・地域・組織が異なる要員が確実に相互に通信できるようにします。

- ① 共通状況図(COP)
- ② 相互運用性
- ③ 信頼性、拡張性、可搬性

- ④ 復元性と冗長性

## 6.2 管理の特徴

- ① 標準化された通信の種類： 戦略的通信、戦術的通信、支援通信、公共向け通信
- ② 方針と計画策定
- ③ 協定
- ④ 機器の標準規格と訓練

## 6.3 組織と運用

- ① インシデントの情報： インシデントの状況把握、状況報告、分析データ、地理空間情報
- ② 通信の標準規格と形式： 利用手順、共通用語、平易な言葉(平文)、互換性、暗号化または戦術的言葉、合同情報システム(JIS)と合同情報センター(JIC)、インターネット/ウェブ手順、情報セキュリティ

## 7. 構成要素 3 資源管理

### 7.1 概念と原則

NIMS は、分類・棚卸・組織化・追跡という標準的資源管理の実務を規定します。これにより、行政区域を越えて重要資源を効率的に共有・統合することが可能になります。

- ① 概念： 一貫性、標準化、連携、利用、情報管理、資格認定
- ② 原則： 計画策定、協定の利用、資源の分類、資源の特定と発注、資源の効率的な管理

### 7.2 資源の管理

- ① 必要資源の特定
- ② 発注と取得
- ③ 動員
- ④ 追跡と報告
- ⑤ 回復と撤収： 非消耗品、消耗品
- ⑥ 補償
- ⑦ 棚卸： 資格認定、資源の特定と分類： あるインシデントにおける資源管理は、明確な始点と終点を持つ有限のプロセスである。

## 8. 構成要素 4 指揮と管理

柔軟で標準化されたインシデント管理体制は、効果的・効率的なインシデント管理および連携を可

能にします。この体制は次の3要素からなります。

- ① インシデント・コマンド・システム(ICS: Incident Command System)
- ② 多組織間連携システム(MACS: Multi-agency Coordination Systems)
- ③ 広報

### 8.1 インシデント・コマンド・システム(ICS)

- ① 管理上の特性: 共通用語、目標による管理、インシデントへの対応計画、管理可能範囲、対応施設と配置、包括的資源管理、統合通信、指揮系統と指揮の一元化、統一指揮、説明責任、情報管理
- ② 指揮と指揮スタッフ: 指揮所、指揮スタッフ、指揮組織
- ③ 一般スタッフ: 運用部門、対応計画部門、物資調達部門、財務/総務部門、情報収集/調査/分析部門
- ④ インシデント・コマンド・チーム
- ⑤ 複合インシデントへの対応(単一 ICS 組織内での複数のインシデントの管理)
- ⑥ 現地指揮所の定義、責任、権限

### 8.2 複数の組織間連携システム(MACS)

MACS は、行政府の全階層がより効果的に協働できるようにするプロセスであり、分野・地域・階層を越えて実施します。他組織の要員が対応に関わる時は MACS 下で行動します。なお、MACS の内容は次のとおりです。

- ① 定義
- ② システムの要素: 施設、設備、要員、手順
- ③ システムの要素の例: インシデント運用センター(EOC: Emergency operations center)、MAC((Multi-agency Coordination))
- ④ MACS の基本機能: 状況評価、インシデントの優先順位決定、重要資源の獲得と配置、関連するインシデント対応方針と組織間連携の支援、他の MACS 要素との連携、公選または指名された公職者との連携、必要情報の調整
- ⑤ MAC グループと現地指揮所の相違

### 8.3 広報

- ① 導入: インシデントに関する情報をタイムリーかつ正確に伝えるためのプロセス・手順・システムで構成される。広報機能は行政区や機能別機関を越えて連携し統合される
- ② システムの定義と要素: 広報担当者、合同情報システム(JIS)、合同情報センター(JIC)、組織的独立性、一般への周知のための情報取得
- ③ 広報通信計画

## 9. 構成要素 5 継続的維持管理

### 9.1 国家統合センター(NIC: National Informatics Center)

連邦緊急事態管理庁(FEMA)の国家統合センター(NIC)はNIMSの戦略的方向性・監視・連携を規定します。NICはNIMSの概念と原則の維持管理と改善を担当します。

- ① 概念と原則
- ② NIMSの改定手順
- ③ NICの責務: 管理運営と法令遵守、標準規格と資格認定、訓練と演習の支援、出版管理

### 9.2 支援技術

NICは、次のような支援技術も担当します。

- ① 概念と原則: 相互運用性と互換性、技術的支援、技術規格、広範な要求事項、戦略的な研究開発計画の策定
- ② 科学技術によるインシデント対応策作成・実行の支援: 運用上の科学的支援、技術標準支援、研究開発支援

以上

※ 本稿は、一般財団法人リスクマネジメント協会機関誌「TODAY 2014年5月号」に掲載したものに加筆修正しました。